

# 防災安全講演会 開催報告

## 災害ボランティアセミナー

平成31年1月19日(土)、津和野町立日

原小学校体育館にて、島根県と当協会主催

による「防災安全講演会」災害ボランティア

セミナー」が開催されました。冒頭に

主催者を代表して、島根県防災部の藤井次

長と当協会の棚橋常務理事が挨拶し、続い

て兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

長・教授の室崎益輝氏による「災害の時代

におけるボランティアの役割」と題する講演

と特定非営利活動法人全国災害ボランティア

支援団体ネットワ

ーク事務

局長の明

城徹也氏

による「自

助・共助

でつくる災

害に強いま

ちづくり」

と題する講

演が行われ

ました。



室崎 益輝 氏

昭和42年京都大学工学部建築学科卒業。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、消防庁消防研究センター所長、関西学院大学災害復興制度研究所長を経て、平成29年より現職。日本火災学会賞、防災功労者内閣総理大臣表彰、兵庫県社会賞などを受賞。



明城 徹也 氏

福井県出身。米国の大学を卒業後、建設会社を経て、NGO業界に転身。パキスタン地震被災者支援や南スーダン帰還民支援等、数多くのプロジェクトに携わる。東日本大震災ではジャパン・プラットフォームの職員として被災者支援・復興支援に従事。平成29年から全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事務局長として、支援調整の仕組みづくりに取り組む。

講演1

13:45~14:45

災害の時代における  
ボランティアの役割

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・  
教授 神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏

近年、自然災害が増加しており、南海トラフ地震も切迫した状況にある。過去の災害の教訓を活かし、事前減災・連携協働に努めること。公助・自助の限界を共助・互助で補完するためにボランティアの役割が重要である等の講演を頂いた。

講演2

14:55~15:55

自助・共助でつくる  
災害に強いまちづくり

特定非営利活動法人全国災害ボランティア  
支援団体ネットワーク

事務局長 明城 徹也 氏

災害ボランティアの位置付け、ボランティア団体の役割や具体的対応等を、熊本地震・九州北部豪雨等の実例に沿って分かりやすくご説明頂いた。また、行政・災害ボランティアセンター・NPOの三者による連携の重要性を訴えられた。